

# いわぬまダイアリー

まちの出来事や話題を紹介します



## 2025フットサル大会 日本語ひろば×バンビーナ

### スポーツを通して国際交流

岩沼北中学校で、多文化共生推進事業の一環として、いわぬま日本語ひろばの参加者と市内の親子フットサルチーム「バンビーナ」の交流試合が行われました。このイベントは、スポーツを通して国際交流をすることを目的としています。

参加した外国人住民は「フットサル大会に参加するのは3回目。みんな優しくていつも楽しい」と話し、児童は「外国人の人と一緒にフットサルをして楽しかった」と話しました。



▲一緒に体を動かして国際交流を楽しみました



## 岩沼産りんごゼリーの提供

### 子どもたちに届ける岩沼の恵み

市内小・中学校の給食で、長岡地区で収穫されたりんごを使ったゼリーが提供されました。この取り組みは地元で採れた食材を活用する地産地消と、郷土愛の育成を目的としています。

パッケージをデザインした岩沼西中学校の齋藤穂波さんは「イラストのポイントは、りんごをイメージした髪型で、前髪を“うさぎりんご”的にした。絵を描くのは好きだけど、今回はデジタルで制作したので難しい部分もあった」と話しました。



▲パッケージ作者の齋藤穂波さん



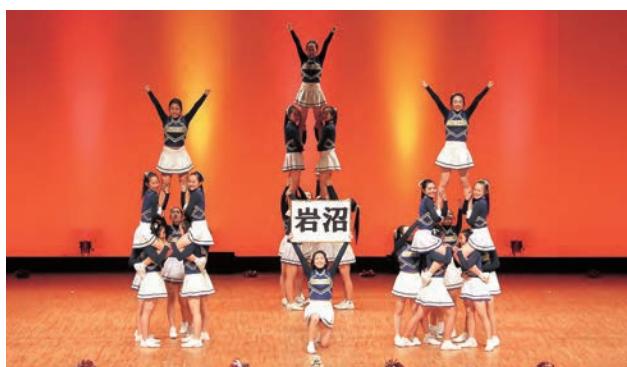
## 第36回岩沼市民文化芸術祭

### 文化芸術のすばらしさに触れる

市民会館・中央公民館で「第36回岩沼市民文化芸術祭」が開催され、歌やバレエ、楽器演奏などの舞台発表や絵画、書道、生け花、服飾などの作品展示、お茶の振る舞いなどが行われました。

9日には、駒澤大学高等学校チアリーディング部の演技発表が行われ、若さ溢れる大迫力の演技に、会場では大きな拍手が沸き起こりました。

また、同校の文化祭の売上の一一部から千年希望の丘整備のための寄付金もいただきました。



▲笑顔が輝くチアリーディングの演技



## 応急給水訓練

### 災害に備える力を地域で育む

市役所で岩沼市管工事業協同組合と関係企業による「応急給水訓練」が行われました。

地震などの災害による断水時に、迅速かつ確実な応急給水活動ができる体制を整えることを目的に、市民や保育園児、管工事業者が参加しました。

緊急飲料水備蓄タンクの使用方法や給水車による給水手順を確認し、地域の防災意識向上と関係機関の連携強化を図る貴重な機会となりました。



▲給水車から水を受け取り、災害時の備えを体験しました